

2023

3. 1 (水)

12:10  
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン  
(Zoom)

登録はこちら▶▶

[https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_ww5tbZwdT3GSwnB8r0e8Hg](https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_ww5tbZwdT3GSwnB8r0e8Hg)

【技術支援】九州大学 Q-AOS &amp; TEMDEC

# ビッグサイエンスを通じて見えた 社会共創の重要性

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)



## 吉岡 瑞樹 准教授

先端素粒子物理研究センター

出身地：  
神奈川県横浜市最終学歴：  
博士（理学）、東京大学、2005年

2005-2008：東京大学素粒子物理国際研究センター研究員

2008-2011：高エネルギー加速器研究機構 特任助教

2011-2013：九州大学理学研究院物理学部門 助教

2013- 現職

留学経験：  
2001-2002 米国ニューヨーク州、その他、海外の研究機関（独・仏・瑞）で1カ月程度の小規模実験を多数実施。著書：  
「マーティン / ショー 素粒子物理学 原著 第4版、SBN-13 978-4065119747

私の専門分野は、最先端の粒子加速器を使った素粒子物理学の実験的研究です。最先端の粒子加速器は非常に巨額の費用（数千億円）を要するいわゆるビッグサイエンスであるため、とりわけ説明責任が求められる分野でした。私自身は、2011年に九州大学に着任以降、天神地区でサイエンスカフェをおよそ月一回の頻度で開催してきました。それらの経験を通じて社会共創の必要性・重要性を認識し、2020年には学内の社会連携推進室に、新たに科学コミュニケーション推進グループを立ち上げるに至りました。セミナーでは九州大学における社会共創の現状や課題について共有します。このプレゼンテーションが大学内の様々な立場の皆さんへ、大学の社会共創のあり方を考えるきっかけになれば幸いです。